

22156	<b>衣服環境論</b> Textile and Clothing in Environment	1 年次～ 後期 2 単位																
担当者	扇澤 美千子	履修可能学科 E Pe Pc C W F N																
サブタイトル		関連資格 教職必(F)																
授業内容 ・ ねらい	<p>人間にとって被服は、裸体を隠すだけでなく人間の生理的な働きを補助し、生体を保護するなどの自然環境への適応と、人間の外装容姿を整え、所属・職業を表示するなどの社会環境への適応とを同時に実現するための重要な役割を果たしています。この授業では、被服材科学・衛生学・整理学・構成学・服飾美学などの分野で扱う基礎的な知識の習得を通じ、衣生活を取りまく現状についてより深くより科学的に知ることで、快適で健全な衣生活を意欲的に営む態度と能力を育てていくことが目標です。さらに、被服製作の基本的な技術を習得するとともに楽しく作る体験を通してより実践的な製作技術の定着をはかります。</p>																	
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. 衣服環境の快適性について</td> <td>9. 衣服の安全性</td> </tr> <tr> <td>2. 衣服の変遷</td> <td>10. 衣服の構造</td> </tr> <tr> <td>3. 衣服の素材と健康</td> <td>11. 平面構成と立体構成</td> </tr> <tr> <td>4. 快適な衣服の条件</td> <td>12. 製作実習の基礎(手縫い)</td> </tr> <tr> <td>5. ライフスタイルと服装</td> <td>13. ミシン縫いの基礎</td> </tr> <tr> <td>6. 衣服の洗浄</td> <td>14. 被服製作実習(応用)</td> </tr> <tr> <td>7. 衣服管理</td> <td>15. 着心地を科学する</td> </tr> <tr> <td>8. 衣服の機能性</td> <td></td> </tr> </table>		1. 衣服環境の快適性について	9. 衣服の安全性	2. 衣服の変遷	10. 衣服の構造	3. 衣服の素材と健康	11. 平面構成と立体構成	4. 快適な衣服の条件	12. 製作実習の基礎(手縫い)	5. ライフスタイルと服装	13. ミシン縫いの基礎	6. 衣服の洗浄	14. 被服製作実習(応用)	7. 衣服管理	15. 着心地を科学する	8. 衣服の機能性	
1. 衣服環境の快適性について	9. 衣服の安全性																	
2. 衣服の変遷	10. 衣服の構造																	
3. 衣服の素材と健康	11. 平面構成と立体構成																	
4. 快適な衣服の条件	12. 製作実習の基礎(手縫い)																	
5. ライフスタイルと服装	13. ミシン縫いの基礎																	
6. 衣服の洗浄	14. 被服製作実習(応用)																	
7. 衣服管理	15. 着心地を科学する																	
8. 衣服の機能性																		
教科書 参考書	必要に応じて参考文献等を指示します。																	
評価方法	課題提出物、製作作品、レポート、出席状況、試験等を総合して評価します。																	
事前準備学習 履修条件等	教職取得者優先。履修希望者が24名を超える場合、抽選があります。被服製作実習の際、材料等は個人負担です。																	